

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第18回 植物細胞周期合同セミナー
演題名	LMD法を用いた時空間的遺伝子発現解析とホルモン分析
発表者	○山田一貴1※、中野渡幸1※、野田幸男1※、湯本絵美1,3、横田孝雄1、山根久和1、佐藤忍2、朝比奈雅志1 1；帝京大・理工・バイオ、2；筑波大・生命環境、3帝京大・先端機器分析センター (○；は者、※；卒研生または大学院生、アンダーライン；本学教職員、研究員) 【植物生理学研究室】
内容	本発表ではレーザーマイクロダイセクション法を用いて植物凍結切片から回収した微量組織を用いて行った時空間的トランスクリプトーム・ホルモノーム解析に関する研究成果を発表した。 本研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、科学研究費補助金「切断組織の再生を制御する植物ホルモンと遺伝子の時空間的制御」、私学事業団特別補助「大学間連携による共同研究」による支援を受けて行ったものであり、筑波大学との共同研究として遂行している。なお、今年度の植物細胞周期合同セミナーは栃木県日光市鬼怒川温泉で開催され、本学植物生理学研究室が幹事を努めた。